職場のハラスメント対策研修の ご案内

有限会社 高田経営アシスト



ごあいさつ

昨今、私たちの社会において非常に重要な問題である「ハラスメント」について 考えていくことが必要とされています。ハラスメントは職場や学校、公共の場など、 あらゆる場所で発生し得る問題です。ひとたびハラスメント問題が発生すると、被 害者の精神的、肉体的な健康に深刻な影響を与えるだけではなく、経営や組織全体 の根本を揺るがす問題にもなりかねません。そして、加害者も社会的な制裁を受け、 地位や名誉も失墜することとなります。

私たち一人ひとりがハラスメントに関心を持ち、他人を尊重し、思いやりのある 行動を心がけることで、ハラスメントのない社会を築くことができます。

私たち高田経営アシストは、ハラスメント問題に全力で取り組んでおります。 私どものハラスメント研修を通して、微力ではございますが、持続性のある社会に 貢献できることをお約束いたします。

有限会社 高田経営アシスト 代表取締役社長 髙野 純平

職場でこのようなことは起きていませんか?

【パワハラ】

- ・パワハラ防止法施行により、対策が義務になったが具体的な施策を行えていない
- ・管理職がパワハラを恐れて、うまく叱れない
- 部下がなんでもかんでもパワハラと騒いでしまう

【セクハラ】

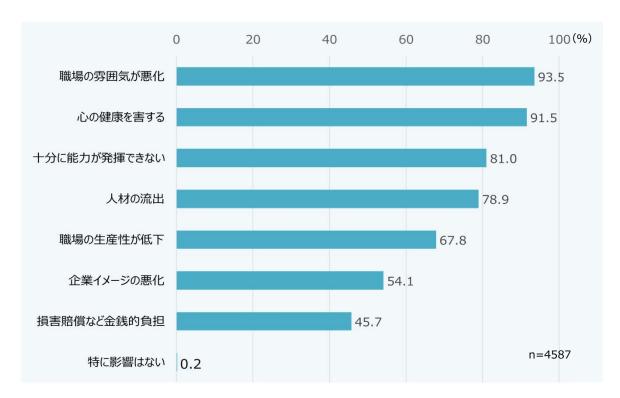
- ・いまだに性別によって差別的な言動をしてしまう社員がいる
- ・セクハラの理解が浅く、デリカシーのない言動をしてしまう社員がいる

【マタハラ・パタハラ・ケアハラ】

- そもそもどのように当事者に接して良いかわからない。
- ・妊婦に気を遣いすぎて、仕事を頼めない

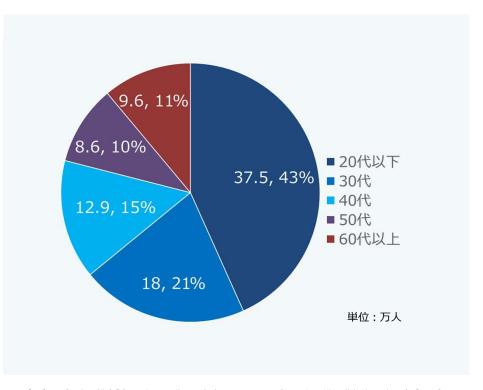
ハラスメントが職場に与える影響

パワハラの職場への影響 →ネガティブな影響があると9割以上の企業が回答



参考:厚生労働省「平成28年度厚生労働省委託事業職場のハラスメントに関する実態調査」 データをもとに一般社団法人日本ハラスメントリスク管理協会がグラフを作成

ハラスメントによる離職者の年代別内訳 →若手の離職が多い



オープンデータ(厚生労働省「令和3年雇用動向調査」)で示されている全国の年間総離職者数に、本調査データが示した直近の退職理由がハラスメントであった割合(n=19,358)を掛け合わせて算出(両データの回答者属性の違いによる回答バイアスを補正するために、性×年代×業種の160区分別に算出し合算)。

参考:パーソル総合研究所「職場のハラスメントについての定量調査」データをもとに一般社団法人日本ハラスメントリスク管理協会がグラフを作成

©有限会社 高田経営アシスト

この研修で得られる効果

・職場のハラスメントの影響力を自覚できる

「ハラスメントはいけない」と分かっている人がほとんどですが、どのくらい重い問題か適切に理解できている人は多くありません。どのような影響力(破壊力)を帯びたものかを理解し、自覚します。

・各種ハラスメントの定義と判断方法が分かる

何となく理解していては、うっかりハラスメントになってしまうことがあります。 法律によるハラスメントの定義と、事例を用い「グレーゾーン」の判断方法を理解します。

・パワハラにならない指示・指導の方法が分かる

叱ることを恐れず、適切に相手の誤った行動を正すにはどうしたら良いかを、具体的な行動 を例に出しながら、8つのポイントで解説します。

講師プロフィール 所属:一般社団法人 日本ハラスメントリスク管理協会 認定講師

髙野 純平



糸尾 紀子



有限会社高田経営アシスト 代表取締役社長

税理士法人北陸合同会計事務所の関連事業部、 企業のリスクマネジメント関係を担当。 企業のBCPの策定や運用、各種マニュアル作りに携わる。 日本ハラスメントリスク管理協会認定講師 石川県出身

損害保険トータルプランナー ファイナンシャルプランナー2級 防災士 小松市警察暴力追放推進委員 有限会社高田経営アシスト 統括リーダー

早稲田大学卒業

石川県内金融機関にて営業店、広報部門等に従事。 その後、損害保険会社にて19年勤務。営業事務、営業、 次席業務を担当。この間、代理店向け研修を多く企画・ 運営する。

日本ハラスメントリスク管理協会認定講師 石川県内を中心に講師活動を展開。 石川県出身

ファイナンシャルプランナー 2 級、防災士趣味: 登山、ヨガ、バレエ鑑賞

©有限会社 高田経営アシスト